

旭川市博物館報

Vol. 23

平成28(2016)年

目 次

I	運営組織及び職員数	1
II	旭川市博物館の概要	
1	建設の目的と性格	1
2	展示基本理念	1
3	旭川市博物館の沿革	2
4	施設の概要	2～3
III	平成27年度事業活動報告	
1	利用状況	4
2	常設展示事業	5
3	企画展示・特別展示事業	5
4	教育普及活動事業	6～8
5	刊行物一覧	9
6	アイヌ語地名表記の推進	9
7	博物館実習	9
8	収蔵資料関係	10
9	資料調査・撮影・掲載等	10
10	貸出資料	10～11
11	博物館ボランティア	11
IV	旭川市博物館利用案内	
1	観覧料	12
2	開館時間・休館日・交通アクセス	13～14

I 運営組織及び職員数（平成28年4月1日現在）

館長	旭川市博物館協議会	(任期：平成26年7月1日～平成28年6月30日)
(1名)	(10名)	
副館長	運営管理，庶務担当	
(1名)		
主査	運営管理，展示，近現代史	
(1名)		
主任	民族学，近現代史	
(2名)		
課員	民族学，考古学，庶務担当	
(2名)		
嘱託職員	資料整理補助・普及事業担当	
(1名)		
臨時職員	事務及び普及事業補助	
(2名)		計10名

II 旭川市博物館の概要

1 建設の目的と性格

(1) 目的

博物館法に基づき、旭川市を中心とした主に北北海道の歴史・文化及び自然に関する各種資料を収集、保管、展示して市民の利用に供し、教養や調査研究を深めていくために必要な事業を行い、市民の教育、学術文化の発展向上への寄与を目的とする。

(2) 性格

- ア 大自然によって生まれ、先人の英知に培われた文化を継承し、明日の市民文化創造の原動力となる「総合博物館」とする。
- イ 北北海道における本市の拠点的性格を考慮して、旭川市を中心とした北北海道の歴史・文化及び自然の姿が正しく理解でき、「北国の自然と人間のかかわり」を考えるとともに未来を展望したものとする。
- ウ 「観る」、「創る」、「語る」こと等のできる場を設け、郷土愛に満ちた楽しい学習を行うことができるものとする。
- エ 地域住民の情報センターとして専門的、技術的研究の成果を市民並びに関係教育機関等に提供する役割を持つものとする。

2 展示基本理念

- (1) 「北国の自然と人間のかかわり」を基本的なテーマに据えて、人間がいかに生きてきたか、さらにいかに生きようとしているかを自然とのかかわりの中で捉えて、総合的、立体的に展示する。
- (2) 旭川市を中心とした北北海道において、先史時代から現代に至る歴史・文化及び自然の中から、いくつかの特色あるテーマを選択して、わかりやすくかつ楽しい展示とする。

3 旭川市博物館の沿革

昭和27（1952）年7月10日	旭川市 ^{はなさき} 花咲町1丁目旭川市郷土博物館として創設開館
昭和27（1952）年11月1日	旭川市教育委員会所管となる
昭和28（1953）年10月16日	博物館法により登録認可
昭和43（1968）年10月31日	閉館（昭和43年12月1日まで休館）
昭和43（1968）年12月2日	旭川市4区1条1丁目（旧旭川 ^{かいかうしや} 偕行社）に移転開館
平成5（1993）年9月1日	旭川市神楽3条7丁目旭川市大雪クリスタルホール内に旭川市博物館として移転開館
平成20（2008）年11月1日	常設展示室1階リニューアルオープン

4 施設の概要

(1) 旭川市博物館<本館>

- ・所在地 旭川市神楽3条7丁目（旭川市大雪クリスタルホール内）
- ・敷地面積 40,282.12㎡（大雪クリスタルホールを含む）
- ・延床面積 9,698.78㎡（ 「 ）
- ・構造 鉄筋コンクリート造，一部プレストレストコンクリート造地下1階地上2階建
- ・総事業費 81億7,866万3千円（大雪クリスタルホールを含む）
- ・各室の内訳

室名	面積(㎡)	利用内容
常設展示室 (1階) (地下階)	1,548.8 (666.5) (882.3)	旭川を中心とした歴史・文化及び自然に関して自然部門と人文部門で常設展示を展開。平成20年11月に1階部分をアイヌ文化の紹介を中心にした展示にリニューアル。
特別展示室	332.8	常設展示を補完するため，また市民のニーズに対応して，そのつど特定のテーマの企画展示を展開。
学芸室1(自然系)	91.4	資料分類整理，資料登録等を行う。
学芸室2(人文系)	139.5	各種資料の分類整理・登録，修理，分析，製作を行う。
第1収蔵庫	433.0	木製品，金属製品等の近現代資料を保管。
第2収蔵庫	249.6	土器，石器，岩石・鉱物，剥製，昆虫，植物標本を保管。
第3収蔵庫	156.0	美術品，漆製品，皮革，繊維製品を保管。
荷解室	107.0	資料搬入と荷解きを行う。
くん ^く ん ^ん 燻 ^{じょう} 蒸 ^{しつ} 室	28.0	搬入された資料の永久保存を図るため，燻蒸によって殺菌・殺虫を行う。
洗浄室	56.0	搬入された資料を洗浄するための水洗場を備える。
文献資料室	78.0	博物館活動に必要な図書文献を収納し，市民の希望のあるときは閲覧に提供。
郷土学習室	127.5	講演，講座および体験学習を開催。
ゆきんぼコーナー	84.0	昭和30年代当時の道具や遊びを通して，暮らしを学ぶことができる。
その他	637.9	慣らし室，廊下，階段，印刷室，更衣室，準備室等。
計	4,069.5	

(2) 附属施設

茶室「晴雪」^{せいせつ} ・構造 木造平屋建 ・面積 22.87㎡

この茶室は，昭和25（1950）年に本市で開かれた「北海道開発大博覧会」の折，当時5条

通11丁目にあった市立図書館の附属茶室として岡田英齋^{おかだえいさい}氏の手により建設，その後常磐^{ときわ}公園内に移され，昭和43（1968）年に当館附属茶室になった。博物館の移転に伴い大雪クリスタルホール敷地内に移設された。

(3) アイヌ文化の森「伝承のコタン」＜分館＞

- ・所在地 上川郡鷹栖^{たがす}町字近文^{ちかぶみ}9線西4号（嵐山公園センター内）
- ・沿革 昭和44(1969)年 アイヌ文化の保存と伝承を目的とし造成に着手
昭和47(1972)年9月10日 旭川市立旭川郷土博物館分館として開設
平成18(2006)年4月1日 嵐山公園センター内に移転

＜施設の概要＞

- ・展示室及び案内事務室等（嵐山公園センター，木造平屋建 476.5㎡）
展示は旭川のアインの人々の植物利用を紹介
- ・ポロチセ1棟（木造，ササ葺き・ササ壁 84.24㎡）
- ・ポンチセ2棟（木造，ササ葺き・ササ壁 31.23㎡，34.03㎡）
- ・その他の施設 プー（チセの附属施設で「食糧庫」を意味する）
ヌササン（「祭壇」の意味でイナウ（木幣）を立てるところ）

Ⅲ 平成27年度事業活動報告

1 利用状況

	一般	高校生	小中学生	幼児	合計	平成26年度
4月	819	6	206	42	1,073	1,316
5月	1,350	13	504	78	1,945	3,610
6月	1,243	280	629	15	2,167	1,624
7月	1,450	6	686	95	2,237	2,080
8月	2,790	40	462	55	3,347	2,332
9月	1,172	181	639	65	2,057	1,988
10月	1,023	100	532	30	1,685	1,863
11月	2,230	71	1,004	32	3,337	2,693
12月	530	3	381	13	927	742
1月	702	1	435	34	1,172	1,462
2月	649	3	1,528	15	2,195	2,106
3月	690	25	277	85	1,077	1,069
合計	14,648	729	7,283	559	23,219	22,885

※平成27年度の日平均入館者数：67.4人（開館日数：344日）

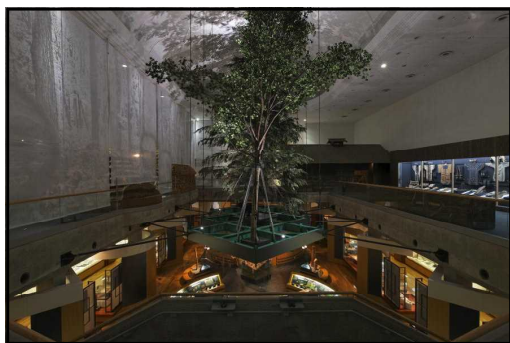
最近10年間の旭川市博物館入館者数一覧（平成17年度～平成26年度：延人数）

年 度	一般		高校生		小中学生（幼児）					幼 児	免 除	特別展	合 計	摘 要
	個人	団体	個人	団体	個人	市内小学	市外小学	市内中学	市外中学					
H17	20,828		139	99	5,613	3,568	544	89	468	1,479	—	—	32,827	※1
H18	4,781	698	75	100	3,939	3,363	386	60	468	774	4,489	—	19,133	
H19	4,354	890	65	50	3,944	3,487	487	109	737	1,071	5,550	—	20,744	
H20	4,342	163	56	0	1,893	2,256	74	10	0	440	4,698	—	13,932	※2
H21	7,394	1,047	108	102	3,269	4,124	687	190	266	703	7,101	4,601	29,592	
H22	7,387	763	96	100	3,126	4,453	1,209	259	279	764	8,024	16,881	43,341	
H23	6,389	542	66	536	2,717	4,314	1,080	305	867	1,013	10,139	7,733	35,701	
H24	7,512	642	95	424	2,055	3,791	1,052	241	419	572	9,006	—	25,809	
H25	6,726	380	77	492	1,917	4,187	1,079	235	296	632	7,933	—	23,954	
H26	6,413	984	69	211	1,458	4,087	1,469	325	842	567	6,460	—	22,885	

※1 無料期間 ※2 H20.11.1～ リニューアルオープン

2 常設展示事業

常設展示室は、1階と地階の2層構造で、平成20年11月にリニューアルされた1階展示室では、大陸や日本などと活発な交易を行い、複雑な社会を生み出してきたアイヌの歴史と多くの民族資料、さらに文化の伝承と創造に取り組む今日の上川アイヌの姿を紹介している。地階展示室では、上川盆地の2万年前から現在における人々の歩みを多くの資料によって振り返るとともに、上川盆地の地質や地形など自然、さらに道北の多様な生態系を展示している。



3 企画展示・特別展示事業

博物館では、常設展示の他に収蔵品を創意工夫によって展示したり、また特定のテーマに基づいて調査研究した成果を発表する企画展示や特別展示を実施。

第74回企画展「よいこのざっしとふろく～函館児童雑誌・付録コレクション」

展示期間	平成27年4月29日(水)～5月31日(日) 32日間
観覧者数	2,036人
展示内容	当時の子ども達を夢中にさせた『少年倶楽部』等の児童雑誌やその付録を、主に函館市中央図書館所蔵児童雑誌コレクションで紹介、世相を振り返る。

第75回企画展「移りゆく街・旭川」

展示期間	平成27年7月18日(土)～8月30日(月) 44日間
観覧者数	4,263人
展示内容	旭川の街と人々の生活の移り変わりをテーマに、芸術性の高い記録写真を撮影し続けてきたフォト集団・北限のこれまでの作品を展示し、戦後のこの街の発展と変化を振り返る。

第76回企画展「風雪の90年 旭川の100人～江上コレクション」

展示期間	平成27年11月3日(土)～平成28年1月17日(日) 76日間
観覧者数	4,640人
展示内容	旭川の郷土史に名を残す100人の肖像画を、前期と後期50枚ずつ展示。彼らの足跡を通じて、旭川の近現代史を振り返る。

4 教育普及活動事業

常設展示の補完と地域の自然・歴史等の理解を目的に体験学習、自然観察会などの各種講座、講義・講演会を開催。その他、来館者のレファレンスサービスや資料の特別利用貸出等を実施。

講義・講演会

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
博物館連続講座「アイヌ語講座」①	大 人	7人	6月11日
博物館連続講座「アイヌ語講座」②	〃	4人	6月25日
博物館連続講座「アイヌ語講座」③	〃	5人	7月9日
博物館連続講座「アイヌ語講座」④	〃	5人	7月23日
博物館連続講座「アイヌ語講座」⑤	〃	6人	8月13日
博物館連続講座「アイヌ語講座」⑥	〃	6人	8月27日
博物館連続講座「アイヌ語講座」⑦	〃	8人	9月10日
博物館連続講座「アイヌ語講座」⑧	〃	6人	9月24日
博物館連続講座「アイヌ語講座」⑨	〃	7人	10月8日
博物館連続講座「アイヌ語講座」⑩	〃	7人	10月22日
講座「歴史・この人・旭川」①	〃	29人	6月14日
講座「歴史・この人・旭川」②	〃	16人	6月28日
講座「この街語り、あさひかわ」①	〃	28人	8月9日
講座「この街語り、あさひかわ」②	〃	21人	8月23日
ミュージアムカレッジ「旭川の近現代・歴史ミステリーファイル」①	〃	9人	11月29日
ミュージアムカレッジ「旭川の近現代・歴史ミステリーファイル」②	〃	8人	12月20日
ミュージアムカレッジ「旭川の近現代・歴史ミステリーファイル」③	〃	13人	1月24日
ミュージアムカレッジ「旭川の近現代・歴史ミステリーファイル」④	〃	9人	2月28日

企画展特別展関連企画

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
企画展関連ワークショップ 「博物館オリジナルふろく作り」	どなたでも	8人	5/10, 5/17
企画講演会「よいこのざっしとふろく」	大 人	11人	5月24日
企画展「ギャラリートーク」	〃	42人	11月3日
企画展「ワンポイントガイド」	〃	15人	11/15, 12/19

体験学習・イベント

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
ウグイス笛作り	小3以上	7人	4月3日
かざぐるま作り	どなたでも	12人	4月4日
アイヌ文様コースター作り	〃	7人	4月5日
野鳥講演会	〃	90人	4月11日
ミニこいのぼり作り	〃	25人	4月26日
組紐ストラップ作り	小4以上	7人	4月29日
大だこ作り	小3以上	12人	5月3日

ミニゴザ編み	小3以上	3人	5月4日
5月5日は博物館へ行こう	どなたでも	173人	5月5日
アイヌ文様コースター作り	〃	12人	5月6日
チセ見学ツアー	小1以上	6人	5月24日
ノヤシト作り	〃	4人	6月20日
むかしのこども・むかしのおやつ	小・中学生	5人	7月26日
ミニ土器焼き作り体験	〃	17人	7月29日
石器作り体験 in 遠軽町白滝	小・中学生 ～一般	8人	7月31日
まが玉作り	小・中学生	7人	8月1日
扇子を作ろう	小3以上	7人	8月2日
ミュージアムカレッジキッズ版	小・中学生	2人	8月5日
風鈴作り	小3以上	10人	8月6日
ゴザ編み体験	〃	21人	8月7日
親子でガラス玉作り	小3以上と 保護者	11人	8月8日
お化けちょうちん作り	小3以上	10人	8月11日
火おこし体験	中学生以下 と保護者	15人	8月12日
夜のお話会	どなたでも	6人	8月13日
アイヌ文様しおり作り	〃	22人	8月14日
親子でガラス玉作り	小3以上と 保護者	16人	8月15日
軍都のうわさ～語り継がれる街の記憶	大人	18人	8月16日
石のはんこ作り	小4以上	1人	8月19日
あさひかわナツカシフシギ	どなたでも	5人	9月19日
学芸員による展示解説ガイド	〃	10人	9月20日
アイヌ文様風車・マグネットしおり作り	〃	2人	9月23日
ぶんぶんコマを作ろう	〃	10人	10月10日
学芸員による展示解説ガイド	〃	11人	10月11日
学芸員による展示解説ガイド	〃	7人	11月15日
ワークショップ（組紐，竹とんぼ）	〃	20人	11月21日
博物館クリスマスガイド	〃	8人	12月23日
アイヌ文様コースター作り	〃	1人	12月24日
組紐作り	〃	5人	12月25日
お正月飾り作り	小3以上	15人	12月26日
ミニだるま色塗り体験	〃	20人	12月27日
まが玉作り	〃	17人	1月7日
古代織コースター	〃	13人	1月8日
ガラスまが玉作り	小3以上と 保護者	8人	1月9日
フォトスタンド作り	小3以上	8人	1月10日
博物館新春ガイド	どなたでも	9人	1月11日
アイヌ文様ランプ作り	小3以上	17人	1月15日
アイヌ文様ランプ作り	〃	17人	1月16日
マグネットしおり作り	どなたでも	10人	1月17日

ミニ箱絵作り	どなたでも	1人	2月7日
昔遊び	〃	3人	2月11日
アイヌ文様風車作り	〃	3人	3月19日
だるま落としを作ってみよう	小3以上	3人	3月21日
巨大風車作り	どなたでも	4人	3月26日

アイヌ文化関連事業

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
アイヌ語地名ツアー	小4以上	9人	6月21日
エカエカ作り	小3以上	16人	8月18日
アイヌ文化ふれあいまつり	どなたでも	1,550人	9月15日
アイヌ的ハーブティー体験	大 人	7人	10月12日
アイヌ文化に親しむ日	どなたでも	1,286人	11月3日
エカエカ作り	小3以上	21人	1月6日
アイヌ的ハーブピザ	どなたでも	6人	1月14日
アイヌ刺繍体験	大 人	30人	3/16, 3/23
エカエカ作り	小3以上	4人	3月27日

アイヌ民族音楽会

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
近文第一小学校	4年生	40人	10月8日
向陵小学校	4・6年生	125人	10月28日
永山西小学校	4年生	110人	11月9日
日章小学校	4年生	9人	11月12日
忠和小学校	4年生	82人	11月25日
大町小学校	4・5・6年生	39人	11月27日
東光小学校	4年生	126人	12月3日
神居小学校	3・4年生	115人	12月4日
東光中学校	1年生	109人	12月10日
北海道教育大学附属旭川小学校	4・5年生	149人	12月16日

ゆきんぼ企画「あさひかわ・ナツカシフシギ」

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
ゆきんぼ企画「旭川ナツカシフシギ」	どなたでも	5,327人	毎週土日祝

旭川市博物館教育活動

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
教員のための博物館の日	教 員	121人	7月29日
旭川市教育研究会社会科部会意見交流会	〃	12人	2月2日

※教員のための博物館の日については、旭山動物園受付人数。

5 刊行物一覧

名 称	形 態	頁 数	部 数
旭川市博物館研究報告 第22号	A 4 版・Web版	7頁	400
旭川市博物館所蔵品目録X X V 民族資料/外来品関係：漆器類	A 4 版	22頁	400
キッズかわら版 第19号	A 3 版・Web版	4 頁	6,000
キッズかわら版 第20号	A 3 版・Web版	4 頁	6,000

6 アイヌ語地名表記の推進

地域の人々に身近で親しまれている地名などのアイヌ語について、市民の関心や理解を深めるため、日本語名とアイヌ語名を併記した表示板を設置する。また、懇談会を開催し、事業の実施内容を検討する。

(1) 表示板設置実績

- ・ 内容 : ヘツチェウシ (神楽)
- ・ 設置場所: 旭川市神楽3条8丁目クリスタルパーク内

(2) アイヌ語地名表記推進懇談会

- ・ 実施日 : 平成27年7月22日
- ・ 参加人数: 4人

7 博物館実習

博物館法施行規則第1条に基づく実習を、平成20年度からは科学館と合同で受け入れ実施。

(1) 実習期間 平成27年8月20日(木)から8月26日(水)まで(7日間)

(2) 実習生(学校別人数)

北海道教育大学(2) 札幌学院大学(1)

東京農業大学(1) 宮城学院女子大学(1)

合計5人

8 収蔵資料関係

平成27年度	民族資料	考古学資料	生活資料	自然科学資料	文書資料	計
4月	0	0	46	0	0	46
5月	0	0	34	0	0	34
6月	0	0	12	0	0	12
7月	0	0	11	0	0	11
8月	1	1	9	0	0	11
9月	1	0	4	0	0	5
10月	16	0	82	0	0	98
11月	0	0	5	0	0	5
12月	0	0	1	0	0	1
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	1	0	0	1
3月	0	0	1	0	0	1
合 計	18	1	206	0	0	225
前年度末	2,613	18,912	51,150	7,659	6,368	86,702
累 計	2,631	18,913	51,356	7,659	6,368	86,927

9 資料調査・撮影・掲載等

資料調査・撮影・掲載者	貸出資料	点数	掲載等
国立民族学博物館	木綿衣ほか	48点	資料調査のため
株式会社日本標準 横山 浩司	写真(デジタルデータ)	1点	冊子掲載のため
株式会社ぶらんとマガジン社 佐々木美紀	ルンペンストーブ ほか	6点	冊子掲載のため
株式会社北海道新聞社出版センター 菊地 賢洋	日章小グラウンド ほか	52点	冊子掲載のため
株式会社正進社 青木 信子	首飾りほか (ポジフィルム)	4点	冊子掲載のため
青森県立郷土館 中村 哲也	神居古潭ストーンサー クル遺跡図ほか (デジタルデータ)	5点	特別展「環状列石と周堤墓」関係 印刷物への掲載のため
社会福祉法人浦河べてるの家 赤尾 悦子	衣装	1点	資料調査のため
光村図書出版株式会社 松田 美佳里	アイヌ衣装	1点	デジタル教材への掲載のため
旭川ケーブルテレビ 野村 慶太	知里幸恵遺稿ほか	4点	番組撮影のため
(有)宮塚文化財研究所 宮塚 義人	写真	4点	研究・資料収集(写真撮影)のため
石橋 孝夫	カハコモ	1点	資料調査, 写真撮影のため
弘前大学 人文学部 関根 達人	嵐山岩陰のクマとオル ゴールメリー写真	1点	冊子掲載のため
株式会社アフロ 関亦 崇尋	緑色岩(神居古潭) 画像データ	1点	教科書教師用指導書への掲載のため
株式会社アフロ 大西 佑妃子	アイヌ語地名表示板 「エタンペツ」写真	2点	学習教材への掲載のため
日本文教出版株式会社 飯田 翔子	アイヌ衣装	1点	デジタル教科書への掲載のため
士別市教育委員会 伊藤 勉	キッズかわら版第18 号写真	1点	士別市社会科副読本への掲載のため
札幌大学 文化学部 石門 恒成	たばこ入れ	4点	冊子掲載のため

10 貸出資料

貸出先	貸出資料	点数	貸出期間
北鎮記念館	伝ステッセルのピアノほか	8点	平成27年4月1日～平成28年3月31日
旭川市消防本部	火災報知器ほか	2点	平成27年4月1日～平成28年3月31日
旭川市民生活館	イクパスイほか	20点	平成27年4月1日～平成28年3月31日
旭川市立北鎮小学校	スキーほか	3点	平成27年4月1日～平成28年3月31日
旭川市教育委員会 社会教育部文化振興課	小熊秀雄の机	1点	平成27年4月1日～平成28年3月31日
旭川市立緑新小学校	縄文体験キット	1点	平成27年4月9日～平成27年4月20日
旭川兵村記念館	シジュウカラほか	4点	平成27年4月23日～平成27年11月30日
フォト集団「北限」	「人口25万」写真パネル	103点	平成27年7月14日～平成27年9月10日
日本製紙株式会社 北海道工場 旭川事業所	写真パネル	14点	平成27年10月10日～平成27年10月16日

名寄市北国博物館	写真パネル	75点	平成27年10月21日～平成28年1月14日
東部まちづくりセンター	遊具キット	3点	平成27年11月13日～平成27年11月17日
豊岡2の6町内会	遊具キット	2点	平成28年1月23日～平成28年1月24日
旭川市立神楽保育所	石うす	1点	平成28年1月26日～平成28年1月26日
士別市立博物館	土器片ほか	3点	平成28年2月1日～平成28年2月15日

11 博物館ボランティア

昭和62年に北海道退職校長会旭川支部会員の希望者が集まった博物館ボランティアが、現在も継続して活動中。内容は、2班に分かれて各週1回毎に来館、担当学芸員に協力し収蔵資料の整理、データ入力等の作業に従事。

IV 旭川市博物館利用案内

1 観覧料（旭川市科学館との共通券料金も併せて掲示）

博物館	科学館		観覧料（円）			
	常設展示室 （1日）	常設展示室 （1日）	プラネタリウム （1回）	大人		高校生
			個人	団体	個人	団体
●			300	240	200	160
●	●		500	400	300	240
●		●	400	320	250	200
●	●	●	700	560	450	360

※団体料金は、同じ料金の方が20名以上の場合。

※次に該当する方は、観覧料が免除となる。（受付にお申し出ください。）

- ① 旭川市内在住の満70歳以上の方（科学館は鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町在住の満70歳以上の方も）
- ② 身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- ③ 介護保険法に定める要介護者の方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- ④ 学校の児童生徒等を引率する教員又は一般団体引率者の方

※旭川市，鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生20名以上の団体は，科学館のみ観覧料を5割減額。

以下のパスポートを利用する場合は，利用開始日から1年間，対象施設を観覧できる。

種類	対象施設	料金（円／枚）	
		大人	高校生
博物館パスポート	博物館の常設展示	600	400
博物館・科学館 パスポート	博物館の常設展示 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,400	900

※上記パスポートは科学館の受付，又は市内公共施設の売店などでも販売。

なお，特別展については，その都度教育委員会が定める額とする。

2 開館時間・休館日・交通アクセス

(1) 開館日数

平成27年度の開館日は344日，休館日は22日。

(2) 休館日

毎月第2・第4月曜日（祝日に当たるときは，その翌日）

年末年始（12月30日から翌年の1月4日まで）

設備点検日等

(3) 臨時開館日

前(2)に掲げる休館日のうち，6月から9月までの月曜日。

(4) 開館時間

開 館 午前 9 時

閉 館 午後 5 時（ただし観覧のための入館は午後 4 時30分まで）

(5) 交通のご案内

バスをご利用の場合

1 条通 7 丁目「12番バスのりば」から旭川電気軌道バス「80・81番」乗車，忠別橋経由で「神楽 4 条 7 丁目」（大雪アリーナ前）下車。所要時間は約10分。同じく「12番バスのりば」から旭川電気軌道バス「93番」乗車，クリスタル橋経由で「大雪クリスタルホール前」下車。所要時間は約 5 分。

又は，1 条通 7 丁目「11番バスのりば」から道北バス「14・43番」乗車，忠別橋経由で「神楽 4 条 7 丁目」（大雪アリーナ前）下車。所要時間は約10分。同じく「11番バスのりば」から道北バス「443番」乗車，クリスタル橋経由で「大雪クリスタルホール前」下車。所要時間は約 5 分。詳しくはホームページを参照。

乗用車をご利用の場合

J R 旭川駅から約1km，約 5 分。隣接する旭川大雪アリーナ裏側に約400台収容可能な専用駐車場あり（大型バスは10台駐車可能）。

高速道路をご利用の場合

道央自動車道「旭川鷹栖I.C.」から約6.3km，車で約25分。

J Rをご利用の場合

J R 旭川駅南口（西側）から徒歩の場合，クリスタル橋経由で約820m，所要時間は約10分。タクシーの場合，所要時間は約 5 分。

飛行機をご利用の場合

旭川空港から約18.8km，車で約40分。

(6) 周辺地区

旭川市博物館は、複合施設である旭川市大雪クリスタルホール（旭川大雪アリーナ隣接）内。



平成 28(2016)年

旭川市博物館報 Vol.23

平成 28 年 12 月 発行

発行者 旭川市博物館

旭川市博物館 〒 070-8003 旭川市神楽 3 条 7 丁目（大雪クリスタルホール内）

TEL 0166-69-2004 FAX 69-2001

ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/hakubutukan/>

メールアドレス museum@city.asahikawa.hokkaido.jp
